

# ナイスハートバザールとは

～これまでの開催状況と本書のご案内～

## ・ナイスハートバザールとは

「ナイスハートバザール」は、1981(昭和56)年に国際障害者年の記念事業の一つとして、東京の大手デパートにあった「社会福祉コーナー」のPRのために、全国の社会就労センター(障害者就労支援事業所等)の働くことを希望する障害者がつくった製品を一堂に集め、見本市として行ったことが始まりです。

全国の社会就労センターで生産・製造された製品を展示販売し、販路の拡大、障害者の工賃・賃金水準の向上を図るとともに、多くの市民の理解を深め、障害のある方々の社会参加を促進することが大きな目的です。

この活動は、社会就労センターの事業振興にも寄与し、広く社会にも注目されました。その後、全国ナイスハートバザールは、国庫補助金の対象となり、現在は、毎年全国2か所で全国ナイスハートバザールが開催されています。また、都道府県単独のナイスハートバザールも40年に渡り全国各地で開催されています。

## ・作成の経緯

全国社会就労センター協議会では、毎年度国庫補助事業として、全国ナイスハートバザールを開催するとともに、各地のナイスハートバザールの開催状況や成果、課題等を共有するナイスハートバザール担当者研修会を実施しています。

2020(令和2)年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全国ナイスハートバザールおよびナイスハートバザール担当者研修会の中止を決定いたしました。そこで、今年度については、全国ナイスハートバザールおよび都道府県単独のナイスハートバザールの実施状況、ナイスハートバザールを成功させるためのアイデアをまとめた『ナイスハートバザール成功のためのヒント ～全国の好事例とアイデア～』を作成し、今後のナイスハートバザールの開催に資することといたしました。

## ・本書の構成

本書は、大きく第1部：全国のナイスハートバザール事例集、第2部：ナイスハートバザールを成功させるためのアイデア集に分かれています。

第1部では、2016(平成28)年度以降に全国ナイスハートバザールを開催した宮城県、長野県、三重県、長崎県、鹿児島県と令和元年度に都道府県単独のナイスハートバザールを開催した北海道、徳島県の具体的な開催状況をそれぞれ開催年度順に掲載し、第2部では、ナイスハートバザールを開催する際の具体的なアイデアについてまとめました。

また、巻末企画では、プロの視点から販売の工夫やポイントを紹介しています。

**全国ナイスハートバザールの開催県一覧**  
【国庫補助事業（ナイスハートバザール）開催地】

年度	開催場所				
昭和59年度	宮城県	東京都	愛知県	熊本県	
昭和60年度	北海道	神奈川県	福岡県	沖縄県	
昭和61年度	福島県	愛知県	京都府	香川県	
昭和62年度	北海道	長野県	長崎県	沖縄県	
昭和63年度	青森県	福井県	長野県	香川県	鹿児島県
平成元年度	長野県	大阪府			
平成2年度	東京都	長崎県			
平成3年度	福井県	大分県			
平成4年度	長野県	福岡県	鹿児島県	沖縄県	
平成5年度	石川県	長崎県			
平成6年度	新潟県	大阪府	和歌山県		
平成7年度	秋田県	静岡県	熊本県		
平成8年度	北海道	静岡県			
平成9年度	栃木県	三重県			
平成10年度	福井県	福岡県			
平成11年度	鳥取県				
平成12年度	福井県	熊本県			
平成13年度	大阪府				
平成14年度	滋賀県				
平成15年度	静岡県	長崎県			
平成16年度	千葉県	富山県			
平成17年度	宮城県	福井県			
平成18年度	長野県	兵庫県			
平成19年度	宮城県	長崎県			
平成20年度	山形県	奈良県			
平成21年度	愛知県	奈良県	山口県		
平成22年度	東京都	長崎県			
平成23年度	岩手県	徳島県			
平成24年度	大阪府	福岡県			
平成25年度	岡山県	長崎県			
平成26年度	山口県	宮崎県			
平成27年度	埼玉県	広島県			
平成28年度	宮城県	神奈川県			
平成29年度	群馬県	島根県			
平成30年度	長野県	長崎県			
令和元(平成31)年度	三重県	鹿児島県			
令和2年度	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止				